

小倉山通信

平成27年10月9日
No.23

実績を残した前学期終了

「学び合い 高め合う角中生」を目指す本年度の前学期が、本日で終わります。

心と体と頭を鍛えるという具体的な目標についてどうだったか、振り返ってみます。

1 心を鍛えます

『お互いのよい所を見つけて一人一人が輝いていく角中生』

- 自分からあいさつをする。
- 清掃などの活動に、協力しながら一生懸命取り組む。
- 人の悲しみや痛みを分かろうとする。

この1に関して、生徒会執行部のあいさつ運動、部活動毎のあいさつ運動、1年生が小学校に行っているあいさつ運動など、あいさつをしようという意欲が行動に出た場面が多々ありました。また、学校の中でも、外でも、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」の言葉が飛び交う学校であったと思います。

清掃活動は「裸足の清掃」に見られるように、取りかかりも次第に早くなっているし、黙々と取り組んでいる生徒の姿が、清掃時に見られます。昨日のなべっこの後の河川清掃などもしっかりおこなってくれました。

2 体を鍛えます

『健康的な生活習慣が身に付いている角中生』

- 早寝・早起きをして元気に登校する。
- 5分間走に毎日取り組む。
- 自分を表現し、何事にもあきらめずに取り組む。

早寝・早起きに関しては、全国学力学習状況調査の生徒質問紙から、「同じ時間帯に起きたり、寝たりしている」が全国平均よりも上回っております。

5分間走については、この活動があった日は、ほとんどの生徒が一生懸命に取り組む姿を見えています。

学年集会・全校集会で、全員の前で発表することもできるようになりました。また、発表で詰まった生徒を静かに待つ、という態度も身に付けました。

体を鍛える運動部では、それぞれの各種大会で上位成績を収め、県大会に出場して奮闘したり、野球では全校応援をするという思い出も作ることが出来ました。全校体制で取り組んだ駅伝も、男女とも県大会に進み、女子8位入賞を得ることが出来ました。

3 頭を鍛えます

『ねばり強く学習に取り組み、お互いを高め合う角中生』

- 自分から求めて学ぶ。
- 自分の言葉で考えを表現する。
- 地域に発信する。
- ボランティア活動に参加する。

学習への取組は、学年によって状態の差はあるものの、全学年で、一時間一時間の取組が日に日に充実してきております。朝の読書は、ほとんどの学級で静かに取り組んでいます。学習強調週間で調査した家庭学習時間は、1回目よりも2回目の量が多くなってきています。今後は量の中でどのような質の高い家庭学習がおこなわれているかについて取り組んでいきたいと思っています。

「地域に発信する」では、4月の観桜会のために角館の桜について学習を進め、2年生は桜への施肥活動を大曲養護学校の生徒と一緒に行いました。また、ふるさと教育の一環として、角館のお祭りを出校日として探究的な学習にそれぞれの学年が取り組みました。特に、3年生は「お祭り案内人」を行い、たくさんの観光客に喜ばれました。美術部員の県展入選や英語暗唱弁論大会の弁論部門で、都市大会優勝、県大会優勝、全国へという生徒も在学しており、文化的な場面でも角館中学校を地域に知らしめました。

細かいそれぞれの分野における課題はありますが、前学期でよかったイメージを後学期につなげてくれれば幸いです。

後学期スタートダッシュへの少しばかりの充電期間一秋休みを有効に活用して充実した休みとしてほしいです。

すずかけ祭 たくさんのご来場 ありがとうございました

10月3日(土)に平成27年度すずかけ祭が開催されました。午前中の最初は、学年合唱。ドンパルで、生の声の素晴らしさに感動を覚えた生徒は、スタートの2年生合唱から始まりましたが、心打つ一体となった演奏でした。続く1年生もはつらつとした声で歌いきりました。難曲である「流浪の民」を歌った3年生は、ソリスト賞に輝いた各パートの奏者が、ベストの状態で合唱を届けてくれました。その後は予定どおりにステージの出し物が進み、拍手喝采のうちにお昼となりました。

午後はオーケストラ部の演奏から始まりました。弦楽器での校歌の演奏から始まり、パガニーニあり、「川の流れに」(藤原恭子教諭歌う)、「ふるさと」(奈良淳一教諭歌う)、宝島等、ばりばりに楽しみました。観客の一人は、サクソのソロを行った生徒の腕前はプロ並みです、と私に言いに来ました。そして、オーケストラ、



吹奏楽というよりは、音楽活動全般にわたって楽しませていただいた、ともお話ししてくれました。

次の3年生劇、予行よりも数段素晴らしいできになっており、内容の意味するところが非常に深かったです。出演者の3年生の皆さん、お疲れ様でした。

そして、最後の「大いなる秋田」、見事に第4楽章まで演奏しました。お客様が、「本当に素晴らしかった」「歌がよかった」「感動をいただいた」と口々に感想を述べて帰られました。演奏の始まりとともに、大きな雨、豪雨でしたが、終わりでは小降りになり、全く気にならない雨の音でした。それくらい、集中した演奏でした。

食堂部門、屋台部門ともに完売、各教科の作品ブース、部活動展、科学部展、国際交流展などにも多数のお客様が入場され、生徒の作品や実験等で楽しまれておりました。

地域の皆様、ご来場本当にありがとうございました。

クニマスミュージカル 大拍手で完結

10月4日(日)、仙北州市制10周年記念式典が仙北市民会館(田沢湖生保内)で開催されましたが、その前の記念演奏会で、「愛 クニマス ミュージカル」のガラ・コンサート(舞台での踊りなどが無い、音楽だけのミュージカルを「ガラ・コンサート」と言うそうです。)が行われました。

このミュージカルは、田沢湖のクニマスが山梨県の西湖で見つかったのを機会に、昨年、地元の福田金作さんが原作を書き、鳥井俊之さんが作曲し、わらび座の栗城宏さんが演出を行った作品です。出演者は、仙北市の各中学校の吹奏楽部が合同で、昨年は角館混声合唱団が、合唱をつとめました。今年は、それに加えて角館中学校3年生有志の合唱団が54名、そして角中オーケストラ部員33名に、神代中、生保内中、西明寺中の吹奏楽部員、一般の合唱参加の方々、角館混声合唱団など、総勢185名での大演奏会となりました。

ミュージカルは4人のソリストと語りの方で進められ、合唱団は最初と最後のフィナーレで、参加します。吹奏楽と合唱が混じり合い、それがホールに鳴り響き、満席の観客から大きな大きな拍手をいただきました。仙北市内の中学校2・3年生はすべて観客として参観しました。歌っている我々も感動をいただいた瞬間でした。



ミュージカルが終わってから、功労者表彰、式典と行われ、仙北市誕生からの10年間を振り返ることができました。

御法川衆議院議員の来賓祝辞で、ここにいる仙北市の中学生(桧木内中学校を除く、市内の中学2・3年生が全員参加)が10年後、地域でどれだけがんばってくれているか、また、地域に残れない人がふるさと仙北市をどれだけ思ってくれるか、そのことに期待したい、というお話がありました。まさに、今後10年間、ふるさと仙北市を生徒の手で、よりよい住みやすい地域・まちにしていこうという決意を抱きました。今日から早速、ともにこれからの10年間に向かって歩いていきましょう。

マラソン・駅伝・なべっこ 無事終了

10月7日(水)、快晴の下に、桧木内川堤落合公園で、マラソン・駅伝・なべっこを行いました。最初に、体育委員によるマラソン・駅伝大会の開会式がありました。

校長あいさつ、諸注意の後、選手宣誓は3年生の藤原一輝さんが行ってくれました。

開会式後、早速、各学級毎に、準備運動、自チームの結束を固めるための声出しなどを行いました。

マラソンが始まりました。2年生女子・男子、1年生女子・男子、3年生女子・男子の順に850mを駆け抜けます。

いよいよ駅伝です。11学級が14人ずつ走ります。一周850mを女子・男子の順番で走ります。最後のランナーは、ピブを着て走りました。

駅伝の結果は、1位が2年生、2位に1年生が入りました。2位に1年生が入ったのは4年ぶりだそうです。また1区の記録も新記録が出ました。

閉会式を終え、いよいよなべっことなりました。1年生・2年生・3年生と各場所をとって、計画した料理を作ります。煙がもくもくと上がって、順調にできたところもあり、トラブル発生で、やや遅れたところもありました。しかし、1時までにはしっかりどのグループも満腹の状態でした。

1週間前くらいに、豪雨のため、川が氾濫し、ゴミ、主にペットボトルやアルミ缶が川縁に上がっており、そのゴミ拾い、後片付けをして、帰校しました。

快晴に恵まれた素晴らしい行事でした。体育委員会・関係者の生徒の皆様、前日からのコースのゴミ寄せなど、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

◎ 校内駅伝大会結果

1位	2年C組	新記録(区間はすべて850m)
2位	1年B組	1区 藤原舞さん 2'48
3位	2年A組	藤川陽向さん2'49
4位	2年B組	6区 竹内達志さん2'32
5位	2年D組	7区 佐藤里緒さん2'48
6位	3年C組	

